

地域の人との交流活動を生かした 小学校キャリア教育指導プランの作成と活用

—自分の将来を考える意識を高める指導の充実を目指して—

長期研修員 上原 美和

研究の概要

本研究では、児童の自分の将来を考える意識を高める指導の充実を目指して、各学校で行われている地域の人との交流活動を生かした小学校キャリア教育指導プランを作成した。キャリア教育の視点を明らかにした交流活動を位置付けた授業実践において、児童が仕事の意義が分かること、仕事や生き方への考えを広げることにより、仕事や生き方への興味・関心を高め、自分の将来を考える意識を高めることを実践を通して明らかにした。

研究構想図

自分の将来に夢や希望をもち、
なりたい姿を思い描ける児童

自分の将来を考える意識を高める指導の充実

自分の将来への関心が高まる

仕事への興味・関心が高まる

仕事や生き方に対する考えが広がる

仕事の意義が分かる

地域の人との交流活動

小学校キャリア教育指導プラン



低学年
8プラン



中学年
8プラン



高学年
10プラン

仕事や生き方の視点で
交流活動を振り返る

いろいろな職業の人
身近な人との交流

将来の夢を
思い描けない

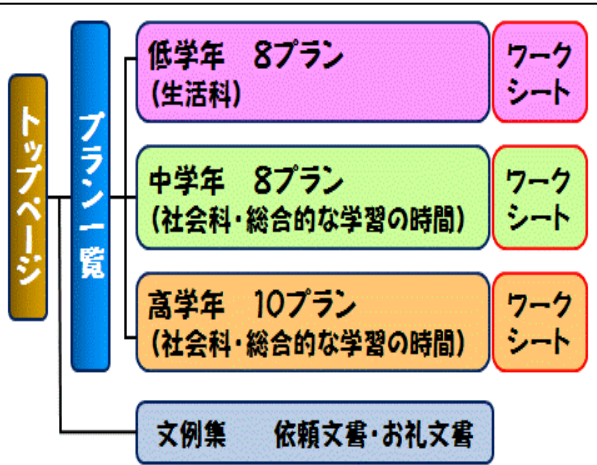
キャリア教育の内容
や進め方がわからない

トラブルや自分の課題
を解決する力が弱い

新たにキャリア教育
を行うのは大変だ

現状と課題

地域の人との交流活動を生かした小学校キャリア教育指導プランの構成



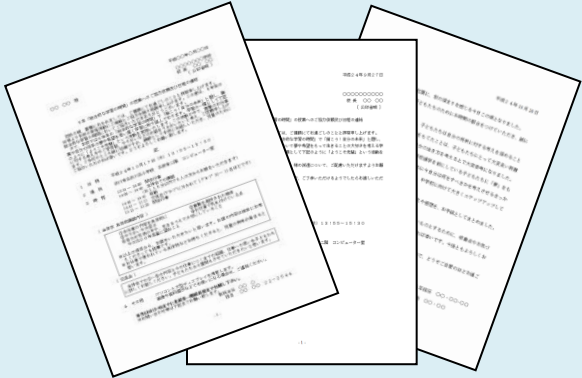
プラン一覧

目指す児童像に近づく内容であること、様々な年代、仕事、考え方、キャリアをもつ人との交流ができることを視点を整理し、作成した。

| 学年 | No | 題材名 | 交流する人 |
|-----|----|-------------------|--|
| 低学年 | 1 | 学校たんけん | 学校の職員 |
| | 2 | お手つだい大さくせん | 家族 |
| | 3 | いきもの大すき(動物ふれあい教室) | 獣医 |
| | 4 | 昔のあそび | 家族・お年寄り |
| | 5 | もうすぐ2年生 | 家族・学校の職員 |
| | 6 | 野菜づくり | 家族・地域の農家の方 |
| | 7 | 町たんけん | 地域で働く方 |
| | 8 | 未来に向かって 自分たんけん | 家族・学校の職員 |
| 中学年 | 9 | はたらく人とわたしたちのくらし | 商店・農家・工場などで働く方 |
| | 10 | かわってきた人々のくらし | お年寄り・地域の伝統文化や行事にかかわる方 |
| | 11 | 地域を知ろう・地域再発見 | 地域で働く方 地域の文化や行事にかかわる方 |
| | 12 | 安全なくらし・住みよいくらし | 消防士・警察官など |
| | 13 | 郷土に伝わる願い | 地域の歴史に詳しい方 資料館・博物館職員 |
| | 14 | 福祉・人権 | 地域で福祉にかかわる方 障害者の方・養護学校の子どもたち |
| | 15 | 給食のひみつたんけん | 給食センターで働く方 給食にかかわる仕事をしている方 |
| | 16 | 20歳の自分へ手紙を書こう | 20歳になる卒業生 |
| 高学年 | 17 | わたしたちの生活と工業生産 | 自動車工場で働く方 |
| | 18 | 情報化した社会とわたしたちの生活 | テレビ局で働く方 |
| | 19 | 米作り | 地域の農家の方 |
| | 20 | 幼稚園と遊ぼう | 来年度小学校に入学する園児 |
| | 21 | 環境について考えよう | 自然保護にかかわる方 尾瀬学校のガイドの方 群馬県立自然史博物館の方 |
| | 22 | 国際理解 | ALT・青年海外協力隊の方 |
| | 23 | 戦争体験を聞いて考えよう | 戦争中の生活を経験した方 資料館・博物館職員 |
| | 24 | プロスポーツ選手と夢を語ろう | 県内のプロスポーツ選手 |
| | 25 | ようこそ先輩～働く人との交流会～ | 地域で働く方 |
| | 26 | もうすぐ中学生 | 中学生・中学校の先生 |

文例集

交流活動の前と後に使う講師の方への依頼やお礼の文書例や書き方の注意点についてまとめた。



プランの構成

プラン一覧をもとに指導プランを作成しました。キャリア教育の視点で身に付けたい能力・態度、交流活動で身に付けたい力、交流活動を実施するまでの流れ、学習活動計画例を示した。

a ねらい
教科・領域における単元のねらいを示した。

b キャリア教育の視点
○キャリア教育として本単元ではぐくみたい基礎的・汎用的能力を児童の具体的な姿で示した。
(A) 人間関係形成・社会形成能力 (B) 自己理解・自己管理能力
(C) 課題対応能力 (D) キャリアプランニング能力
○関連の強い項目は、色をつけて示した。

c 交流活動情報
交流活動で身に付けたい力、交流する人の例、交流活動の内容、質問することの例を具体的に示し、交流活動のイメージがつかめるようにした。

苗こう！自分の未来 ～ようこそ先輩「働く人との交流会」～

5・6年生

ねらい (a) 働く人から話を聞くことで、働くことについて考えを広げ、仕事の大変さや楽しさ、自分自身の将来を考える。

キャリア教育の視点 (b) (A) 話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見を理解しようとする。(B) 自分自身の生活や将来について、具体的な姿で示す。(C) 得意な事や希望する仕事、その変化が分かる。(D) 働くことの大変さや楽しさ、仕事を考える。

交流活動情報 (c) 地域で働く人、花嫁、幼稚園の先生、医師、看護師、方等、建築業、トリマー、パティシエ、方等。仕事をする理由、仕事の内容、仕事を始めた理由、大変なこと。仕事で力を付けていること、みんなに話かけていること。

交流活動までの流れ (d) 1. 1週間前までに講師の依頼、電話や依頼する、依頼文書の発送。2. 1週間前講師への最終確認、講師の方に交流会の改善点などを聞く。3. 当日交流会の流れの確認、お礼の手紙を送る。

学習活動 (f) 「なぜ、仕事をするのか」についてアンケートをとる。「なぜ、仕事をするのか」について意見交換をする。交流会で聞きたいことを考える。地域の働く人と交流会を行う。「ようこそ先輩～働く人との交流会～」を仕事について話をし合う。グループごとに交流会を行う。交流会で学んだことや心に残ったことをまとめる。交流した人を紹介するポスターをつくって学んだことをまとめる。交流会で学んだことと手本とする生き方を発表する。交流会の前後の自分の考えの変化をビフォー・アフターでまとめる。

活動計画例 (f) 題材名: どのような仕事があるのかな?、仕事を調べてみよう、(自分)発見。学習活動: ヴェーピングマップにより、社会にはかわりや役割があることに気づく。調べたことをグループで発表し、発見。自分の長所や短所、興味のあること。

d 交流活動までの流れ
講師の依頼や打ち合わせなど、交流活動の準備から交流活動後までの教師の動きを示した。

e 留意点
交流活動設定や学習活動で具体的な動きのポイントを示し、教師の参考になるようにした。

f 活動計画例
○実施可能な学年、教科・領域を示した。
○交流活動が一過性のイベントにならないように、事前・事中・事後でのような学習活動を行うのか学習の流れを示した。
○授業のためのワークシートなども準備した。
○「プラスアップ題材」として交流活動の前や後に、学習内容を広げる題材と学習活動を示した。

授業実践 「ようこそ先輩～働く人との交流会～」

第1時

「なぜ、仕事をするのか」を考え、交流会で聞きたいことを考える。

交流活動前

①学習活動の全体の流れをつかむ。



②「なぜ、仕事をするのか」について意見交換をする。

お金がないと生きていけないから。

家族を養うため。

働いている人に「なぜ、仕事をするのか。」聞いたらいいね。

自分の将来ってどうなるんだろう。自分の10年後は、何をしているんだろう。



いろいろな経験ができるから。



お金がないと食べ物や服が買えないから。

自分もいろいろなことを学べるから。



どうして、その仕事を選んだのかな。



第2・3時

仕事の内容や仕事についての思いを知り、話を聞いて自分が考えたことや心に残ったことを観点をもとにまとめる。

交流活動

交流した人・・・地域で働く人

建築業の方・幼稚園の先生・うどん職人・消防士・小学校の先生

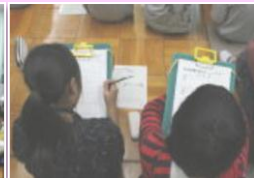
交流会で質問したこと

- 仕事をする理由 ○仕事の内容 ○仕事を選んだ理由
- やりがい ○大変なこと ○仕事をする上で大切にしていること
- その仕事に就くのにした勉強や努力 ○みんなに望むこと

①全体会では、一人5～6分で仕事について話をしてもらおう。

②グループごとに交流会を行う。

③交流会で学んだことや心に残ったことをまとめる。



児童に考えさせたこと

- ①「なぜ、仕事をするのか」を聞いて考えたこと
- ②仕事のやりがいを聞いて考えたこと

働く人から、仕事のことや仕事についての思いを聞こう。

仕事の図面を見せてもらったり、消防服を着せてもらったりして、仕事のことや大変さも分かりました。



将来、仕事について、お客さんから「ありがとう。」「この仕事ってすごいね。」と言ってもらえるといいな。仕事は、すごくいいものだと思います。

第4時

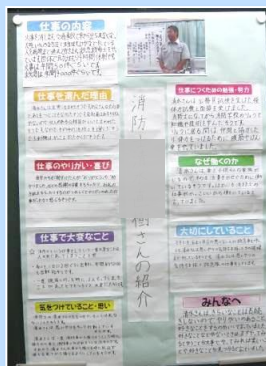
仕事や仕事についての思い、仕事を選んだ理由、生きていく上で大切にしていることなどをまとめ、自分が手本としたいことを考えることができる。

交流した人を紹介するポスターをつくろう。



<消防士の方と交流した児童の意見>

- ・仕事は人のためにやる。
- ・思いやりをもとう。
- ・やれることは何でもやってみる。
- ・消防士がいることの大切さ。



第5時

働く人の思いや考えを知ること、仕事について考えを広げ、自分の将来を考えることの大切さに気付く。

ようこそ先輩で学んだことをまとめよう。

<児童の意見> (交流した方の仕事)

- ・生きがいのために仕事をする。(教師)
- ・うそをつかない。(うどん職人)
- ・仕事を引き継ぐ。(建築業)
- ・仕事は人のためにやる。(消防士)
- ・やりたいと思ったことを自分で見付け、努力して夢をかなえる。(幼稚園の先生)



交流活動前

仕事は家族のためやお金をかせぐためだけだと思っていました。また、ただ大変なだけだと思っていました。

交流活動

交流活動後

ですが今は、人のため社会のためだと思っています。一つ一つの仕事はなくてはならないのだと思います。そして仕事をやることによりやりがいを感じ、大切さが分かっていくのだと思います。

最初の頃は考えられなかったこともたくさん考えられました。自分の将来を考えるのが楽しみになってきました。

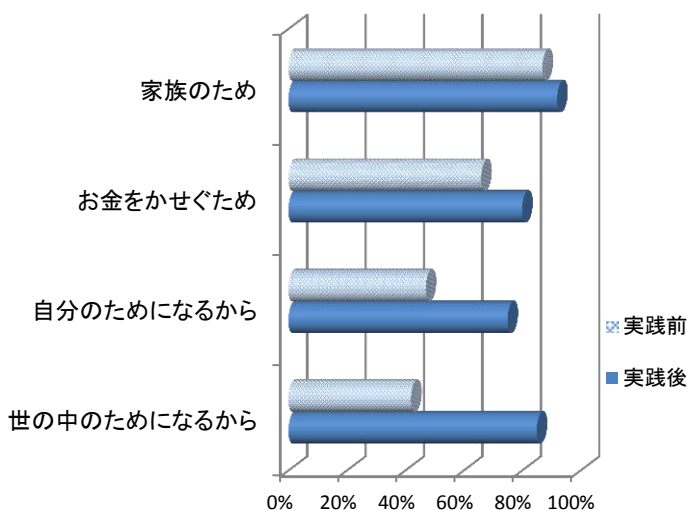


実践のまとめ

仕事の意義が分かる

仕事への興味・関心が高まる

「なぜ仕事をするのか」について



<児童のワークシートの記述から>

- ・仕事は、自分や家族、社会、世の中の人のためになっていることが分かった。
- ・交流会で仕事のイメージが大きく変わった。仕事ってすごいなと思った。
- ・仕事は大変なイメージがとても強かったけど、5人の話を聞いたまとめの時は「好きだからやっている。」というのが伝わってきた。私も早く好きな仕事に就きたいと思った。

「自分のためになる」「社会の中で自分を生かす」という仕事の意義が分かった。

仕事のイメージが「大変」からプラスのイメージに変わった。

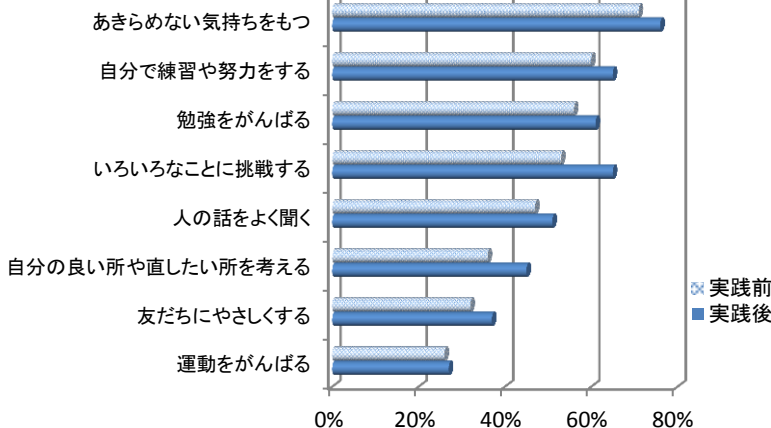
働く自分の姿を楽しみに思うようになった。



仕事や生き方に対する考えが広がる

自分の将来への関心が高まる

夢をかなえるために大切なこと



<児童のワークシートの記述から>

- ・今までは自分の将来を考えたことがなかったので、考えるのもいいなと思った。
- ・社会の人のためになる仕事をして、自分がいてよかったと思ってもらえるような生き方をしたい。

夢をかなえるために大切だと思うことが増えた。

働く人の話から自分にとって大切にしたいことを考えられた。

自分の将来を考える機会になった。



成果と課題

成果

- 児童は、交流活動において、働く人の話からたくさんの価値を得ようとしていることが分かった。児童に考えさせたいことを明らかにして、交流前と交流後の考えをまとめさせたことにより、児童は、交流活動を自分で振り返り、児童自身も自分の価値観の広がりを実感することができた。
- 複数の人との交流により、児童は仕事や生き方の思いについて様々な考えを得ることができた。
- 地域の人との交流活動を充実させたことにより、児童は、働くことの意義を知ることができ、自分の将来を考えようとする意欲を高めることができた。

課題

- 交流活動におけるキャリア教育の視点を明らかにした実践プランにしているために、交流活動で考えさせたい内容を精選しプランを改善していきたい。
- 児童が様々な人との交流から学んだことや考えたことを積み重ねていくことができるような工夫が必要である。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係:教育情報推進係

0270-26-9215(直通)